

第38期

ビジネスレポート

平成21年4月1日～平成22年3月31日



 **ワイエishi株式会社**

東証1部 証券コード:6298



株主の皆様へ 2

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結) 3

トピックス 4~5

主力製品の紹介 6~7

営業状況 8

連結財務諸表 9~10

会社概要 11

株主メモ 裏表紙



代表取締役社長
百瀬 武文

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、第38期のビジネスレポートをお届けするにあたり、日頃のご支援に対し心より厚くお礼申し上げます。

当期の世界経済は、金融危機の影響からマイナス成長に陥り、実態経済が悪化する先行き不透明な厳しい状況にありましたが、後半には各国の政策効果によりアジア地域を中心に回復基調に転じました。わが国経済も、輸出・生産は増加に向かい減税政策の景気下支え効果もあり緩やかな回復基調となりました。

当社の主要事業でありますエレクトロニクス産業は、テレビ、パソコン等の最終商品の需要回復に伴い生産は改善してきており、設備投資も慎重な姿勢ながら徐々に活発化するなど事業環境は好転してきております。

このような環境下、当社グループでは、グローバルな営業展開を強化し、原価の低減・諸経費の削減等を行った結果、大幅な減収・減益となったものの黒字を確保することができました。

当期の連結業績は、売上高91億44百万円(前年同期比27.6%減)、営業利益1億58百万円(同38.1%減)、経常利益1億4百万円(同75.6%減)、当期利益11百万円(同97.7%減)となりました。

当社グループでは、世界的な環境ビジネスの高まりに着目して太陽電池製造装置事業へ新規参入し、さらに環境にやさしいFEL(フィールド・エミッション・ランプ)や省エネ装置の開発に取り組んでおります。また、アジア地区を中心に積極的な営業展開を推進しております。平成21年12月には韓国にYAC Korea Co.,Ltdを設立し、次に中国上海に現地法人設立を予定しております。

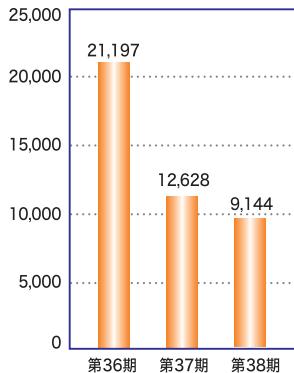
これからも当社グループは、研究開発型企業としてハイテク関連事業、環境関連事業への資源の集中を図り、グローバルな事業展開を積極的に推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

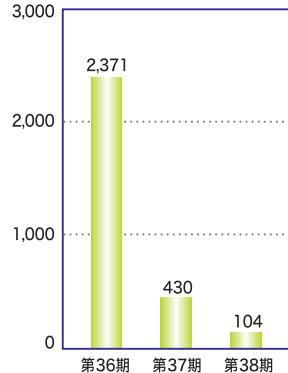
平成22年6月

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結)

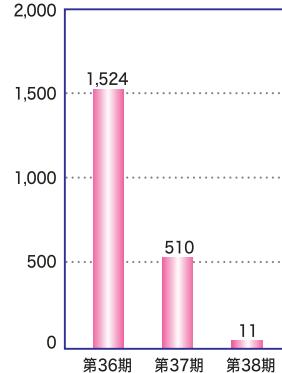
売上高 (単位:百万円)



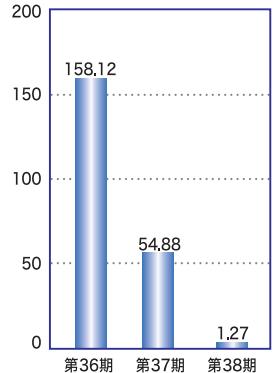
経常利益 (単位:百万円)



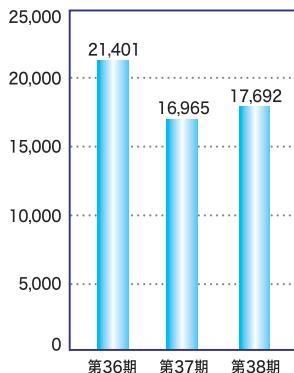
当期純利益 (単位:百万円)



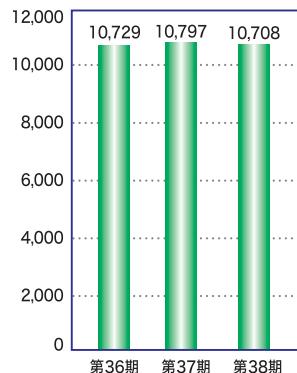
1株当たり当期純利益 (単位:円)



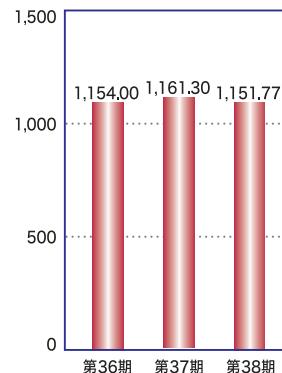
総資産 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



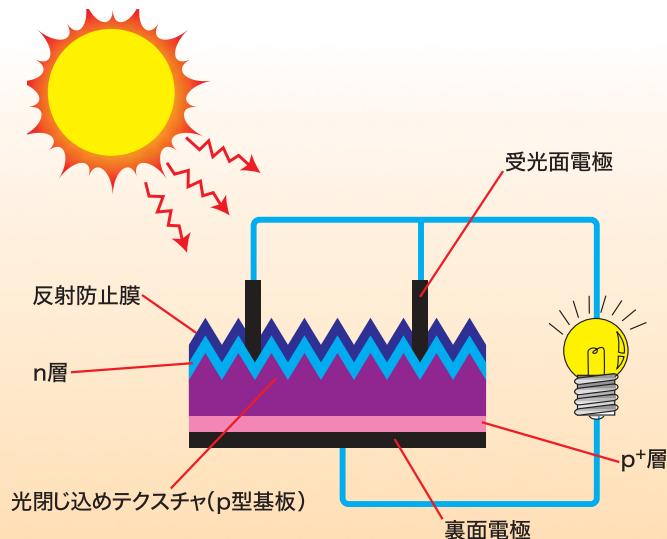
1株当たり純資産 (単位:円)



部門別売上高 (単位:百万円)



太陽電池製造装置ラインアップの充実



結晶系シリコン太陽電池の構造



インライン式テクスチャ装置

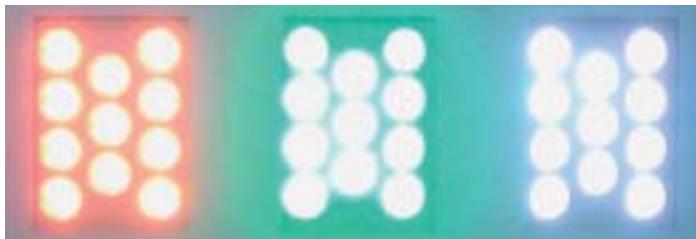


バッチ式テクスチャ装置

当社においては、昨年5月に太陽電池事業に参入し、事業譲渡を受けたエス・イー・エス株式会社が販売していたプロセス装置群(プレクリーニング装置、テクスチャリング装置、インライン装置)に加え、拡散炉、PECVD装置の開発を行い、結晶系の太陽電池製造ラインのフルラインアップを目指しております。

さらに、低コストで製造可能な薄膜系太陽電池製造装置事業にも参入いたします。このたび、変換効率を向上させるための微結晶シリコン製膜CVD技術の開発に成功し、今後本格的に薄膜シリコンCVD装置の製造販売を行ってまいります。

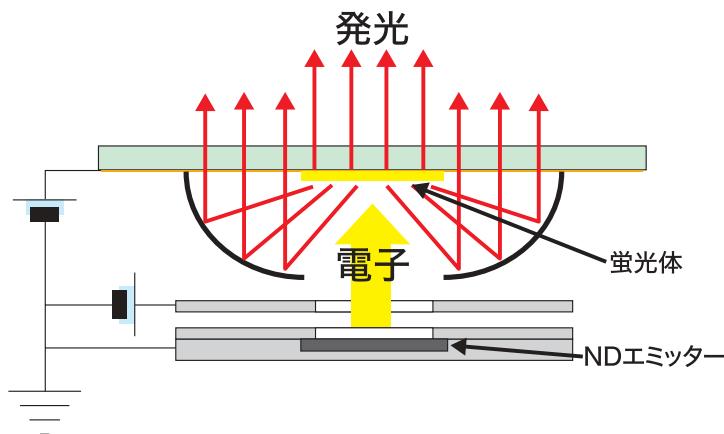
FEL(平面発光ランプ)用薄膜製造販売の事業化推進



FELとは?

Field Emission Lamp

電界放出により発生した電子を
蛍光体へ照射し、発光を得るランプ



FEL(Field Emission Lamp:平面発光ランプ)は、省エネルギー・省資源・脱有害物質(水銀・鉛レス)の特徴を持った地球環境にやさしい次世代照明として期待されているものであります。

これまで製造装置の製造・販売を主に行ってまいりましたが、FEL用薄膜を扱うことにより、初めて素材産業に参入することになります。

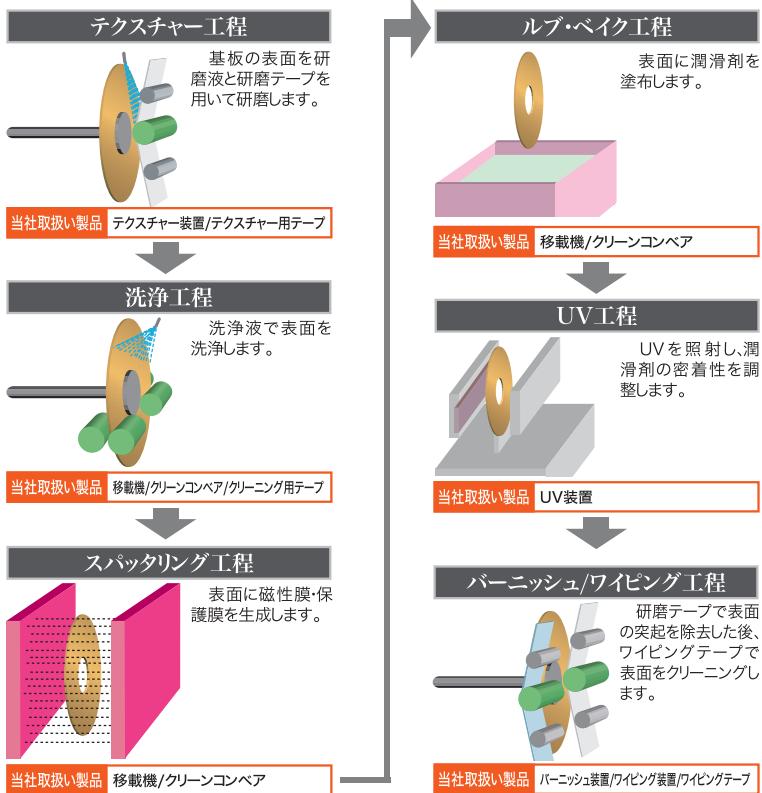
現在、関連会社である株式会社NDマテリアルと共同して平面型電子エミッターの事業化を進めております。さらに、ランプメーカーと提携し、エミッターを組み込んだランプ(FEL)の開発及び試作を推進してまいります。

特徴

- ①従来の蛍光灯と異なり、水銀・鉛などの有害物質を使用しない。
- ②LED(発光ダイオード)と比較して、
 - ・発熱量が少ない。
 - ・面発光である。
- ③色選択、合成の自由度が高い。

主力製品の紹介

ハードディスク関連商品 ハードディスク「メディア工程」



クリーンコンベア(HD工場向け)

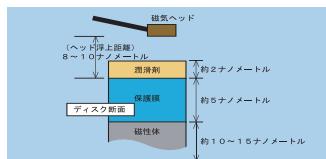


モジュールの組み合わせで自由な搬送ライン設計が可能なローラー式コンベアAGV(自走型搬送ロボット)やOHT(天井架設型搬送装置)に比べ、搬送物をいつでも搬送ラインに投入することができ、搬送効率が高い。

バニッシャー



ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、表面のナノオーダーの微小突起を除去する精密研磨装置。



半導体関連商品



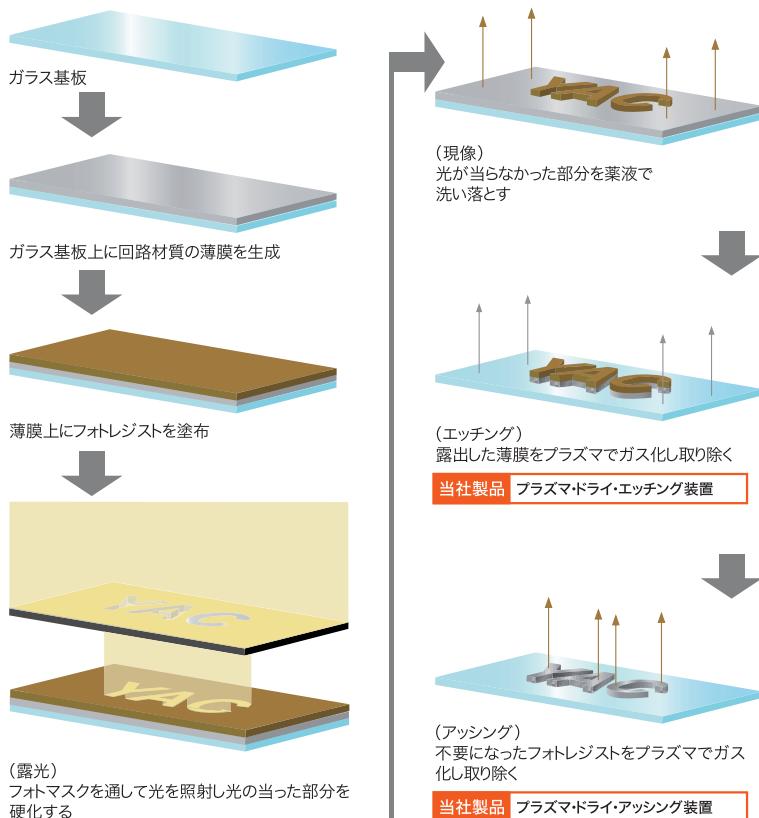
ロジック系IC用ICテストハンドラー

ICのパッケージング後の検査工程で、テスターと接続して使用し、テスターからのテスト結果信号に基づき、ICを良品と不良品に自動選別する装置。必要に応じて、精度の高い高温・低温(-55°C~155°C)下でのテストも行う。

※写真上は4個同時測定・常/高温タイプ

※写真下は8個同時測定・常/高温タイプ

液晶関連商品 液晶パネル製造「アレイ工程」



※上記の工程を何度か繰り返し、回路が完成します。

プラズマドライ・エッチング装置



液晶ディスプレイの各セルの液晶整列方向を個々に制御する微小トランジスターをガラス基板上に描画するプロセスで用いる。フォトマスクを通して露光した結果、硬化した部分以外を除去後、露出した薄膜をプラズマを利用してガス化し除去する装置。

クリーニング関連商品



YPS-301E TYPE2
(ワイシャツ用シングルボディスリーブプレス機)

シャツを前後から熱板で挟みシャツのボディ部と袖部分をプレス仕上げる装置
前身のYPS-301Eよりも低コスト、高品質、高生産を目指した装置。



YPS-622E
(ワイシャツ用二段式ストレッチカラーカフプレス機)

シャツの襟部分とカフ部分をプレスする装置
洗浄時に縮んだシャツの襟部分を元通りに戻すストレッチ機構が付き、省スペースに設置できる装置。

■事業概況

当連結会計年度における我が国経済は、前年度後半の米国金融危機に端を発する世界同時不況の影響から、先行き不透明な状況でスタートしました。

デフレ状況の継続、欧州諸国の経済危機等、不透明な要因も多いものの、各国の景気刺激策により、中国などの新興国を牽引役として、年度後半からは回復基調に転じました。

こうした経済状況のなか、当社グループにおきましては、厳しい受注環境を克服すべく、グローバルな営業展開を図り、収益の確保にむけた原価の低減、経費削減等の緊急対策を強力に推進してまいりました。しかしながら、企業の設備投資の意欲は弱く、売上高及び営業利益は大幅な減少となりました。

【セグメント別の状況】

産業用エレクトロニクス関連事業

顧客企業においては、在庫調整が進み増産体制へ移行する傾向にありますが、その設備投資の時期は遅れているため、売上高及び営業利益とも前連結会計年度を下回りました。

この結果、産業用エレクトロニクス関連事業の売上高は78億78百万円(前年同期比28.5%減)、営業利益は5億31百万円(同30.0%減)となりました。

クリーニング関連その他事業

市場規模が停滞するなか、省エネ・クリーン環境に対応した新製品の投入により、中国及び韓国市場においてグローバルな営業展開を図り、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、クリーニング関連その他事業の売上高は12億66百万円(前年同期比21.6%減)、営業利益は1億21百万円(同49.3%増)となりました。

■対処すべき課題

当社の主要な分野である産業用エレクトロニクス関連事業におきましては、全世界的な不況により設備投資が抑制され、厳しい受注環境にありましたが、環境・省エネ関連製品の補助金制度により需要が喚起され、活況を呈してきました。

こうした状況において当社グループは、環境にやさしい製品をテーマとして、クリーンエネルギー関連の新事業においては付加価値の高い製品の開発を行い、既存の事業においても製品の省エネ化に取り組んでまいります。

具体的には以下の課題に対処してまいります。

①研究開発の拡充

太陽電池の製造装置分野においては、事業譲受により参入した結晶系の太陽電池事業に加え、新たに薄膜系の太陽電池製造装置の開発に取り組み、製品ラインアップの拡充を図ってまいります。

また、FEL(フィールド・エミッションソープ)の分野においては、発光効率が高く水銀等の有害物質を使わない環境にやさしいソープの実用化に向けた製品の開発を進めてまいります。

さらに、クリーニング分野においては、環境に配慮した省エネ製品の開発をおこなってまいります。

②グローバル展開

平成21年12月に韓国現地法人(YAC Korea Co.,Ltd)を設立し、韓国国内における基盤の拡充を図ってまいります。また、今後は中国にも現地法人の設立を予定しており、既存のシンガポールおよび台湾の拠点とあわせ、アジア地区における営業基盤の拡大に努めてまいります。

③生産体制の再構築

常に変化する経営環境、顧客ニーズに対応するため、外部協力会社と生産体制の連携を密にし、生産体制の効率化を図ってまいります。

海外顧客に対応するため、現地での部品調達・生産を実施してまいります。

④財務体質の強化

当社は、財務体質改善のため、有利子負債の縮小等に努め、本来の事業における期間利益の確保を基本とし、より安定した事業経営と規模の拡大に努めてまいります。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	
	当 期 平成22年3月31日現在	前 期 平成21年3月31日現在
【資産の部】		
流 動 資 産	14,076	13,607
現金及び預金	5,232	5,351
受取手形及び売掛金	6,770	4,647
商品及び製品	248	443
仕 掛 品	1,065	2,023
原材料及び貯蔵品	368	527
繰延税金資産	267	176
そ の 他	123	438
貸倒引当金	0	0
固 定 資 産	3,616	3,357
有 形 固 定 資 産	3,030	2,842
建物及び構築物	575	496
機械装置及び運搬具	11	13
工具、器具及び備品	359	252
土 地	2,054	2,042
そ の 他	29	37
無 形 固 定 資 産	100	88
の れ ん	88	76
そ の 他	12	12
投 資 そ の 他 の 資 産	484	426
投資有価証券	207	150
繰延税金資産	225	229
長期滞留債権等	44	40
そ の 他	61	56
貸倒引当金	△55	△50
資 産 合 計	17,692	16,965

(単位:百万円)

科目	期別	
	当 期 平成22年3月31日現在	前 期 平成21年3月31日現在
【負債の部】		
流 動 負 債	4,891	3,513
支払手形及び買掛金	3,004	2,443
短 期 借 入 金	638	611
1年以内償還予定社債	700	—
未 払 法 人 税 等	138	38
未 払 費 用	248	259
賞 与 引 当 金	83	87
そ の 他	77	74
固 定 負 債	2,091	2,654
社 債	300	1,000
長 期 借 入 金	1,260	1,128
繰延税金負債	75	75
退職給付引当金	433	419
そ の 他	23	30
負 債 合 計	6,983	6,167
【純資産の部】		
株 主 資 本	10,833	10,960
資 本 金	2,756	2,756
資 本 剰 余 金	3,582	3,582
利 益 剰 余 金	4,870	4,997
自 己 株 式	△376	△376
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△124	△163
その他有価証券評価差額金	11	2
為替換算調整勘定	△135	△166
純 資 産 合 計	10,708	10,797
負 債 純 資 産 合 計	17,692	16,965

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
売上高		9,144	12,628
売上原価		7,170	10,224
売上総利益		1,974	2,403
営業利益		158	255
営業外収益		75	243
営業外費用		128	69
経常利益		104	430
特別利益		5	10
特別損失		8	28
税金等調整前当期純利益		101	412
法人税、住民税及び事業税		176	152
法人税等調整額		△86	△250
当期純利益		11	510

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		330	3,568
投資活動によるキャッシュ・フロー		△454	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー		11	△2,814
現金及び現金同等物に係る換算差額		△15	△19
現金及び現金同等物の増減額		△128	723
現金及び現金同等物の期首残高		5,344	4,621
現金及び現金同等物の期末残高		5,216	5,344

連結株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成21年3月31日残高	2,756	3,582	4,997	△376	10,960	2	△166	△163	10,797
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当	-	-	△139	-	△139	-	-	-	△139
当期純利益	-	-	11	-	11	-	-	-	11
自己株式の取得	-	-	-	0	0	-	-	-	0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	8	30	38	38
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△127	0	△127	8	30	38	△88
平成22年3月31日残高	2,756	3,582	4,870	△376	10,833	11	△135	△124	10,708

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 会社の概要 (平成22年6月29日現在)

商号	ワイエイシイ株式会社
英文表示	Y.A.C.CO.,LTD.
本社	東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
設立	昭和48年5月11日
資本金	2,756百万円

役員・執行役員	代表取締役社長	百瀬 武文
	常務取締役	佐藤 康男
	常務取締役執行役員	伊藤 利彦
	常務取締役	宮本 忠泰
	取締役執行役員	和田 貢
	取締役執行役員	大福 芳弘
	取締役執行役員	副島 幸雄
	常勤監査役	御幡 公夫
	監査役	勝間田 武司
	監査役	市原 聖功
	執行役員	西原 宗久
	執行役員	曾根田 栄悦
	執行役員	寺本 和政

従業員数 184名(出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)

事業内容 次あげる自動機械の設計・製造・販売ならびに

装置開発を行っております。

●産業用エレクトロニクス関連事業

液晶向プラズマドライエッチング装置/ロジックハンドラー/

熱処理炉/ハードディスク用各種精密研磨装置/

ハイクリーンコンベアシステム/平面発光ランプエミッター/

太陽電池製造装置

●クリーニング関連その他事業

包装機/立体包装機/シャツ・ウール用プレス機/

全自動立体分配システム

主要取引銀行	株式会社りそな銀行	立川支店
	株式会社みずほ銀行	立川支店
	株式会社三井住友銀行	昭島支店

会計監査人 新日本有限責任監査法人

■ 株式の状況 (平成22年3月31日現在)

1.会社が発行する株式の総数	34,388,000株	
2.発行済株式の総数	9,674,587株	
3.当期末現在の株主数	5,097名	
個人・その他 ^(注1)	4,956名	6,993,121株
法人	53名	110,700株
金融機関	29名	1,637,900株
証券会社	27名	147,525株
外国法人等	32名	785,341株

4.大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率 ^(注2) (%)
百瀬 武文	1,494	16.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	586	6.30
ビービーエイチ フォー フィテリティー ロープライス ストック ファンド	300	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	293	3.15
ゴールドマンサックスインターナショナル	281	3.03
野村證券株式会社	67	0.72
ビーエー・パル セキュリティ サービス ルクセブルグ ジャステック セキュリティズ	66	0.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	64	0.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	64	0.69
東京海上日動火災保険株式会社	61	0.66

※当社は、自己株式を376,872株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

(注1)従業員・自社名義株式を含みます。(注2)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ ネットワーク (平成22年6月29日現在)

名称	所在地
本社・本社工場	東京都昭島市
テクニカルセンター	東京都昭島市
昭島第二工場	東京都昭島市
プラズマシステム山梨工場	山梨県南アルプス市
半導体事業部	熊本県菊池郡
太陽電池事業部大分工場	大分県大分市
大阪営業所	大阪府大阪市
ワイエイシイ新潟精機株式会社	新潟県妙高市
HYAC Corporation	米国カリフォルニア州
YAC Systems Singapore Pte Ltd	シンガポール
YAC Korea Co.,Ltd	韓国城南市
日商 微艾新股份有限公司 台湾分公司	台湾竹北市
日本微艾新株式会社上海代表处	中国上海市
株式会社NDマテリアル	高知県高知市

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	3月31日、その他必要ある場合にあらかじめ広告する一定の日
公告の方法	当社ホームページに掲載(http://www.yac.co.jp) (やむを得ない事由が発生した場合は日本経済新聞に掲載)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-7111(フリーダイヤル)
1単元の株式の数	100株

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座がある証券会社にお申出ください。

なお証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。



〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL(042)546-1161(代表) FAX(042)546-1107
URL <http://www.yac.co.jp>